

3 超過勤務について

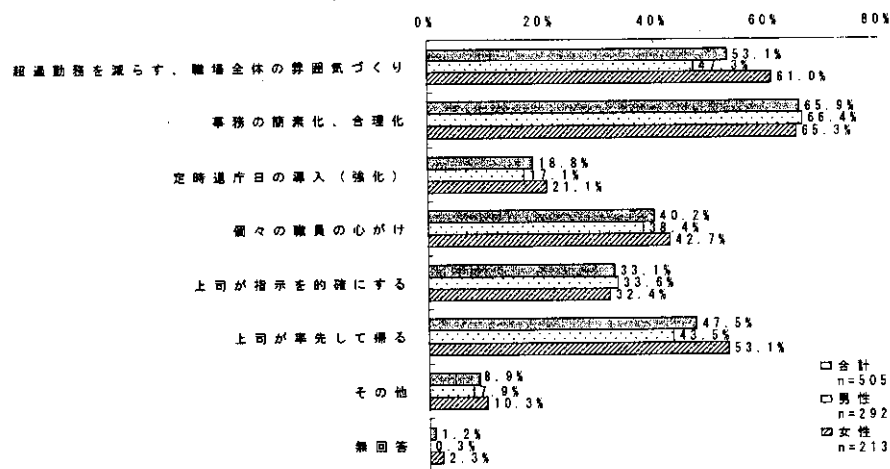
(1) 平成15年7月期の超過勤務の時間数は、

- ① 国家公務員では、34.1時間（男性 48.5時間、女性 13.2時間）
- ② 地方公務員では、16.2時間（男性 24.1時間、女性 7.6時間）であった。

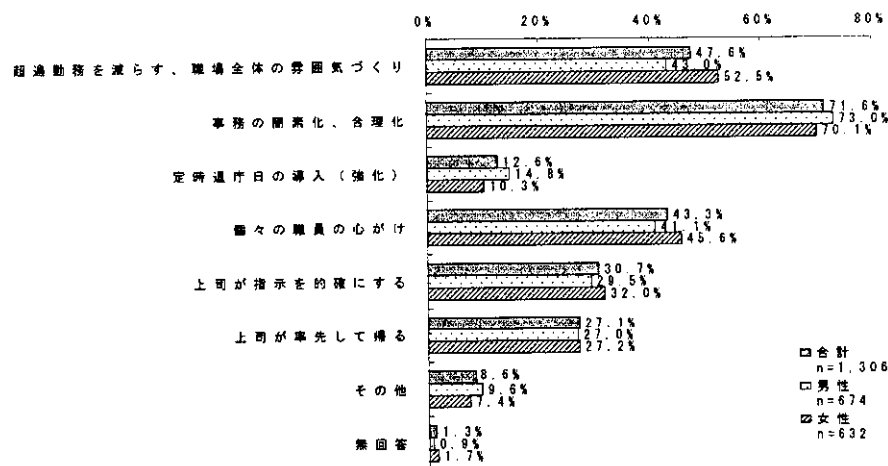
(2) 超過勤務を減らすために効果的と思われる方法としては、

- ① 国家公務員では、「事務の簡素化、合理化」、「超過勤務を減らす、職場全体の雰囲気づくり」、「上司が率先して帰る」
- ② 地方公務員では、「事務の簡素化、合理化」、「超過勤務を減らす、職場全体の雰囲気づくり」、「個々の職員の心がけ」の順で回答した者の割合が多い。

(国家公務員)



(地方公務員)



(3) 以上のほか、超過勤務についての意見を求めたところ、

- ① 「特に、管理職を含む男性職員は超過勤務について、もう一度見直してほしい」
- ② 「『超過勤務の多い職員＝仕事のできる職員』といった風潮を見直すべき」といった回答などがみられた。

4 その他

(1) 育児休業、休暇の取得及び超過勤務の取組のほかに、行動計画策定指針において「勤務環境の整備に関する事項」として掲げているもののうち、効果的な取組と思われるものとしては、「子育てをしている職員に対する転勤についての配慮」と回答した者の割合が最も高い。次いで、

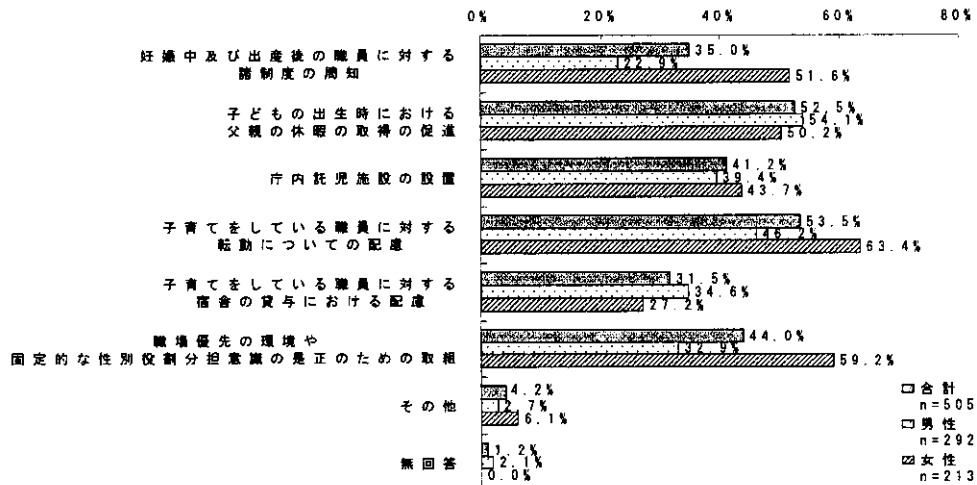
① 国家公務員では、「子どもの出生時における父親の休暇の取得の促進」、「職場優先の環境や固定的な性別役割分担意識の是正のための取組」、「庁内託児施設の設置」

② 地方公務員では、「庁内託児施設の設置」、「子どもの出生時における父親の休暇の取得の促進」、「職場優先の環境や固定的な性別役割分担意識の是正のための取組」

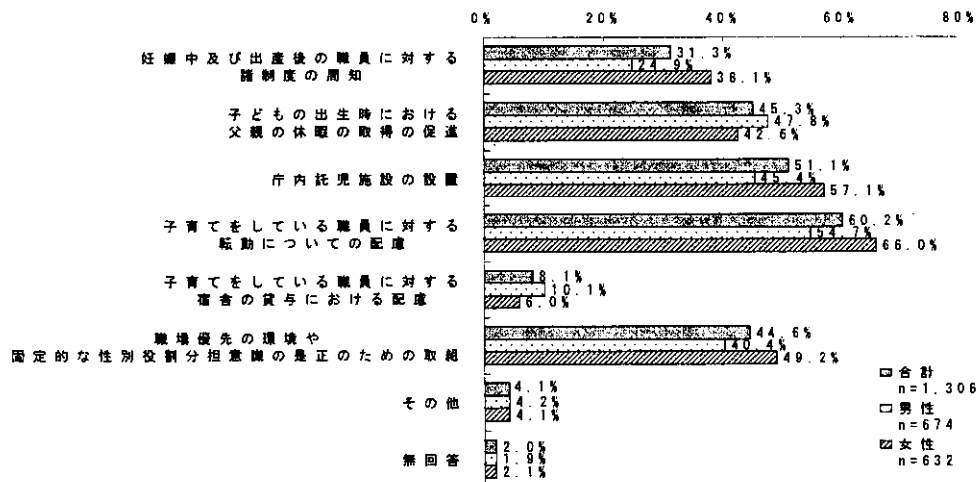
の順で回答した者の割合が多い。

また、女性では、国家公務員・地方公務員双方とも「妊娠中及び出産後の職員に対する諸制度の周知」と回答した者の割合も多い。

(国家公務員)



(地方公務員)

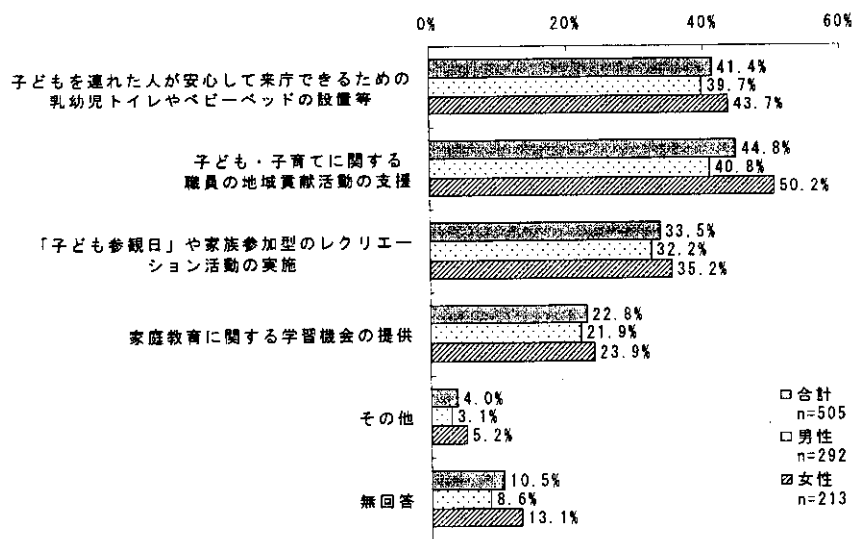


(2) また、行動計画策定指針において「その他の次世代育成支援対策に関する事項」として掲げているもののうち、効果的な取組と思われるものとしては、

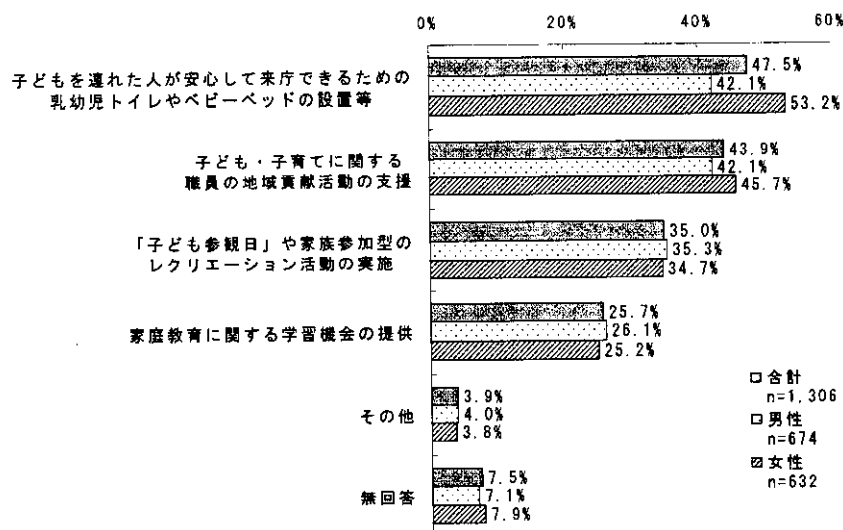
- ① 国家公務員では、「子ども・子育てに関する職員の地域貢献活動の支援」、「子どもを連れて人が安心して来庁できるための乳幼児トイレやベビーベッドの設置等」、「『子ども参観日』や家族参加型のレクリエーション活動の実施」
- ② 地方公務員では、「子どもを連れて人が安心して来庁できるための乳幼児トイレやベビーベッドの設置等」、「子ども・子育てに関する職員の地域貢献活動の支援」、「『子ども参観日』や家族参加型のレクリエーション活動の実施」

の順で回答した者の割合が多い。

(国家公務員)



(地方公務員)



(職員調査の集計表)

【調査対象者の属性】

問1 性別

	調査数	男性	女性
(単位：人、%)			
国家公務員	505 100.0	292 57.8	213 42.2
地方公務員	1306 100.0	674 51.6	632 48.4

問2 年齢

		調査数	年齢(平均)
(単位：人、歳)			
国家公務員	全体	505	35.4
	男性	292	36.1
	女性	213	34.5
地方公務員	全体	1305	36.0
	男性	674	36.7
	女性	631	35.4

問3 勤務地を回答

問4 子どもの数

		調査数	子どもの数(平均)
(単位：人)			
国家公務員	全体	505	1.7
	男性	292	1.8
	女性	213	1.6
地方公務員	全体	1305	1.9
	男性	674	1.9
	女性	631	1.8

問5 配偶者の就労状況

		調査数	(公務員以外の)労働者	公務員	自営等	無職	配偶者なし	無回答
(単位：人、%)								
国家公務員	全体	505 100.0	86 17.0	209 41.4	8 1.6	195 38.6	6 1.2	1 0.2
	男性	292 100.0	37 12.7	60 20.5	2 0.7	192 65.8	0 0.0	1 0.3
	女性	213 100.0	49 23.0	149 70.0	6 2.8	3 1.4	6 2.8	0 0.0
地方公務員	全体	1306 100.0	197 15.1	762 58.3	27 2.1	299 22.9	19 1.5	2 0.2
	男性	674 100.0	85 12.6	285 42.3	6 0.9	296 43.9	1 0.1	1 0.1
	女性	632 100.0	112 17.7	477 75.5	21 3.3	3 0.5	18 2.8	1 0.2

【育児休業の取得】

問6 育児休業取得の有無

		調査数	取得した	取得しなかった	無回答
(単位：人、%)					
国家公務員	全体	505 100.0	196 38.8	308 61.0	1 0.2
	男性	292 100.0	3 1.0	289 99.0	0 0.0
	女性	213 100.0	193 90.6	19 8.9	1 0.5
地方公務員	全体	1306 100.0	618 47.3	688 52.7	0 0.0
	男性	674 100.0	15 2.2	659 97.8	0 0.0
	女性	632 100.0	603 95.4	29 4.6	0 0.0

(問7～問11は、問6で育児休業を「取得した」と回答した者が対象)

問7 育児休業期間(複数回取得の場合は、最も長い期間)

		調査数	1月未満	1月以上2月未満	2月以上3月未満	3月以上6月未満	6月以上9月未満	9月以上1年未満	1年以上	無回答	1年以上取得した場合の平均月数
(単位：人、%)											
国家公務員	全体	196 100.0	1 0.5	8 4.1	10 5.1	27 13.8	45 23.0	85 43.4	19 9.7	1 0.5	15.5
	男性	3 100.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	1 33.3	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	—
	女性	193 100.0	1 0.5	7 3.6	10 5.2	26 13.5	44 22.8	85 44.0	19 9.8	1 0.5	15.5
地方公務員	全体	618 100.0	7 1.1	14 2.3	9 1.5	44 7.1	111 18.0	359 58.1	71 11.5	3 0.5	15.4
	男性	15 100.0	3 20.0	2 13.3	2 13.3	1 6.7	3 20.0	1 6.7	2 13.3	1 6.7	16.0
	女性	603 100.0	4 0.7	12 2.0	7 1.2	43 7.1	108 17.9	358 59.4	69 11.4	2 0.3	15.4

問8 育児休業を取得した動機（複数回答）

		調査数	子供の世話をしているのは親として当然だから	子供の世話をすることに興味があつたから	子供の世話をすることが自分にとってプラスになるから	配偶者が希望したから	配偶者が病弱だから	その他	無回答
(単位：人、%)									
国家公務員	全体	196 100.0	155 79.1	74 37.8	82 41.8	11 5.6	1 0.5	61 31.1	0 0.0
	男性	3 100.0	1 33.3	2 66.7	2 66.7	2 66.7	1 33.3	1 33.3	0 0.0
	女性	193 100.0	154 79.8	72 37.3	80 41.5	9 4.7	0 0.0	60 31.1	0 0.0
地方公務員	全体	618 100.0	508 82.2	204 33.0	213 34.5	51 8.3	0 0.0	139 22.5	5 0.8
	男性	15 100.0	7 46.7	8 53.3	6 40.0	2 13.3	0 0.0	7 46.7	0 0.0
	女性	603 100.0	501 83.1	196 32.5	207 34.3	49 8.1	0 0.0	132 21.9	5 0.8

問9 育児休業を取得する際に障害となった事項（複数回答）

		調査数	業務の遂行に支障がないよう業務の措置すること	昇給等に差がつくこと	周囲に前例が無く職場の理解が得にくかったこと	経済的に厳しくなること	その他	無回答
(単位：人、%)								
国家公務員	全体	196 100.0	99 50.5	57 29.1	19 9.7	102 52.0	23 11.7	15 7.7
	男性	3 100.0	2 66.7	0 0.0	2 66.7	1 33.3	0 0.0	0 0.0
	女性	193 100.0	97 50.3	57 29.5	17 8.8	101 52.3	23 11.9	15 7.8
地方公務員	全体	618 100.0	376 60.8	134 21.7	21 3.4	330 53.4	65 10.5	24 3.9
	男性	15 100.0	7 46.7	4 26.7	1 6.7	6 40.0	4 26.7	2 13.3
	女性	603 100.0	369 61.2	130 21.6	20 3.3	324 53.7	61 10.1	22 3.6

問10 育児休業を取得した感想（複数回答）

(単位：人、%)		調査数	子育ての大変さと喜びを実感した	今後でもできる限り育児を分担したい	少なかつた	子育てから得られたものは	同僚にも育児休業をすることを勧めたい	育児休業は今回限りとした	その他	無回答
国家公務員	全体	196 100.0	177 90.3	55 28.1	1 0.5	97 49.5	7 3.6	32 16.3	1 0.5	
	男性	3 100.0	2 66.7	2 66.7	0 0.0	1 33.3	0 0.0	1 33.3	0 0.0	
	女性	193 100.0	175 90.7	53 27.5	1 0.5	96 49.7	7 3.6	31 16.1	1 0.5	
地方公務員	全体	618 100.0	561 90.8	163 26.4	2 0.3	281 45.5	21 3.4	76 12.3	3 0.5	
	男性	15 100.0	10 66.7	4 26.7	0 0.0	7 46.7	2 13.3	3 20.0	1 6.7	
	女性	603 100.0	551 91.4	159 26.4	2 0.3	274 45.4	19 3.2	73 12.1	2 0.3	

問11 問10で「同僚にも育児休業をすることを勧めたい」又は「育児休業は今回限り」と回答した者に対して、その理由を自由回答

(問12は、問6で育児休業を「取得しなかった」と回答した者が対象)

問12 育児休業を取得しなかった理由（複数回答）

(単位：人、%)		調査数	仕事にやりがいを感じていないため	職場に迷惑をかけるため	業務が繁忙であったため	出世にひびくと思つたため	復帰後の職場や仕事の変化に対応できなくなると思つたため	家計が苦しくなるため	自分以外に育児をする人がいたため	職場が育児休業を取得しにくい雰囲気であつたため	配偶者や家族からの反対があつたため	その他	無回答
国家公務員	全体	308 100.0	15 4.9	119 38.6	91 29.5	29 9.4	35 11.4	72 23.4	204 66.2	63 20.5	1 0.3	57 18.5	0 0.0
	男性	289 100.0	12 4.2	113 39.1	88 30.4	28 9.7	28 9.7	65 22.5	202 69.9	59 20.4	1 0.3	49 17.0	0 0.0
	女性	19 100.0	3 15.8	6 31.6	3 15.8	1 5.3	7 36.8	7 36.8	2 10.5	4 21.1	0 0.0	8 42.1	0 0.0
地方公務員	全体	688 100.0	19 2.8	238 34.6	177 25.7	31 4.5	36 5.2	127 18.5	482 70.1	79 11.5	6 0.9	111 16.1	3 0.4
	男性	659 100.0	15 2.3	225 34.1	173 26.3	30 4.6	28 4.2	123 18.7	475 72.1	75 11.4	6 0.9	101 15.3	3 0.5
	女性	29 100.0	4 13.8	13 44.8	4 13.8	1 3.4	8 27.6	4 13.8	7 24.1	4 13.8	0 0.0	10 34.5	0 0.0

(問13と問14は、全員が回答)

問13 育児休業の取得を促進するために取り組むことが必要と思われる事項(複数回答)

		調査数	し業務遂行体制の工夫・見直し	職場の意識改革	休業期間中の経済的支援の拡大	育児休業等の制度の内容に関する情報提供	育児休業経験者の体験談等に関する情報提供	休業者に対する職場の状況に関する情報提供	職場復帰時の研修等の支援	その他	無回答
(単位：人、%)											
国家公務員	全体	505 100.0	291 57.6	359 71.1	276 54.7	125 24.8	66 13.1	140 27.7	122 24.2	54 10.7	6 1.2
	男性	292 100.0	161 55.1	226 77.4	163 55.8	68 23.3	32 11.0	46 15.8	45 15.4	27 9.2	1 0.3
	女性	213 100.0	130 61.0	133 62.4	113 53.1	57 26.8	34 16.0	94 44.1	77 36.2	27 12.7	5 2.3
地方公務員	全体	1306 100.0	814 62.3	809 61.9	769 58.9	217 16.6	102 7.8	322 24.7	330 25.3	114 8.7	25 1.9
	男性	674 100.0	389 57.7	471 69.9	402 59.6	104 15.4	41 6.1	100 14.8	109 16.2	64 9.5	5 0.7
	女性	632 100.0	425 67.2	338 53.5	367 58.1	113 17.9	61 9.7	222 35.1	221 35.0	50 7.9	20 3.2

問14 育児休業取得についての意見を自由回答

【休暇の取得】

問 15 平成14年1月から12月までの間に、取得した年次休暇の日数

		調査数	平成14年1月～12月までの平均取得した年次休暇日数
国家公務員	全体	482	13.0
	男性	282	11.5
	女性	200	15.0
地方公務員	全体	1248	11.3
	男性	664	10.7
	女性	584	11.9

問 16 年次休暇を取得する方針

		調査数	なるべくたくさん休む	数日の余裕はみて、たくさん休む	周りの人が休む程度に休む	基本的には休まない	無回答
(単位：人、%)							
国家公務員	全体	505 100.0	52 10.3	133 26.3	198 39.2	104 20.6	18 3.6
	男性	292 100.0	40 13.7	68 23.3	130 44.5	45 15.4	9 3.1
	女性	213 100.0	12 5.6	65 30.5	68 31.9	59 27.7	9 4.2
地方公務員	全体	1306 100.0	143 10.9	348 26.6	491 37.6	277 21.2	47 3.6
	男性	674 100.0	112 16.6	174 25.8	243 36.1	130 19.3	15 2.2
	女性	632 100.0	31 4.9	174 27.5	248 39.2	147 23.3	32 5.1

問 17 年次休暇を取得することにためらいを感じるか

		調査数	ためらいを感じる	ためらいを感じない	無回答
(単位：人、%)					
国家公務員	全体	505 100.0	318 63.0	182 36.0	5 1.0
	男性	292 100.0	173 59.2	115 39.4	4 1.4
	女性	213 100.0	145 68.1	67 31.5	1 0.5
地方公務員	全体	1306 100.0	705 54.0	592 45.3	9 0.7
	男性	674 100.0	313 46.4	356 52.8	5 0.7
	女性	632 100.0	392 62.0	236 37.3	4 0.6

(問18は、問17で年次休暇を取得することに「ためらいを感じる」と回答した者が対象)

問18 ためらいを感じる理由(複数回答)

		調査数	昇格や査定に悪い影響がある	みんなに迷惑がかかると感じる	後で多忙になる	上司がよい顔をしない	職場の雰囲気取得しづらい	その他	無回答
(単位:人、%)									
国家公務員	全体	318 100.0	15 4.7	228 71.7	162 50.9	47 14.8	108 34.0	27 8.5	0 0.0
	男性	173 100.0	8 4.6	118 68.2	95 54.9	27 15.6	65 37.6	11 6.4	0 0.0
	女性	145 100.0	7 4.8	110 75.9	67 46.2	20 13.8	43 29.7	16 11.0	0 0.0
地方公務員	全体	705 100.0	20 2.8	452 64.1	425 60.3	60 8.5	171 24.3	62 8.8	0 0.0
	男性	313 100.0	13 4.2	179 57.2	213 68.1	26 8.3	80 25.6	22 7.0	0 0.0
	女性	392 100.0	7 1.8	273 69.6	212 54.1	34 8.7	91 23.2	40 10.2	0 0.0

(問19は、問17で年次休暇を取得することに「ためらいを感じない」と回答した者が対象)

問19 ためらいを感じない理由(複数回答)

		調査数	当然の権利である	仕事のできる人ほど効率的に休む	休んでも後で仕事に影響を生じない	休んでも周りに迷惑をかける	上司や人事担当から休むようにいわれる	職場の雰囲気取得しやすい	その他	無回答
(単位:人、%)										
国家公務員	全体	182 100.0	89 48.9	37 20.3	57 31.3	44 24.2	17 9.3	92 50.5	31 17.0	0 0.0
	男性	115 100.0	57 49.6	26 22.6	32 27.8	28 24.3	10 8.7	50 43.5	15 13.0	0 0.0
	女性	67 100.0	32 47.8	11 16.4	25 37.3	16 23.9	7 10.4	42 62.7	16 23.9	0 0.0
地方公務員	全体	592 100.0	319 53.9	99 16.7	185 31.3	198 33.4	44 7.4	277 46.8	73 12.3	0 0.0
	男性	356 100.0	184 51.7	69 19.4	124 34.8	143 40.2	32 9.0	146 41.0	33 9.3	0 0.0
	女性	236 100.0	135 57.2	30 12.7	61 25.8	55 23.3	12 5.1	131 55.5	40 16.9	0 0.0

(問20と問21は、全員が回答)

問20 休暇の取得を促進するために取り組むことが必要と思われる事項(複数回答)

(単位:人、%)		調査数	業務遂行体制の工夫・見直し	職場の意識改革	年次休暇の計画表の作成・実施	職場の業務予定の職員への早期周知	取得促進 夏季等における連続休暇の	ゴールデンウィーク期間の	おける休暇や学校の行事への参加等のための休暇の取得	職員やその家族の記念日に	その他	無回答
国家公務員	全体	505 100.0	267 52.9	305 60.4	105 20.8	94 18.6	188 37.2	293 58.0	41 8.1	22 4.4		
	男性	292 100.0	157 53.8	181 62.0	66 22.6	49 16.8	111 38.0	146 50.0	25 8.6	12 4.1		
	女性	213 100.0	110 51.6	124 58.2	39 18.3	45 21.1	77 36.2	147 69.0	16 7.5	10 4.7		
地方公務員	全体	1306 100.0	721 55.2	643 49.2	246 18.8	239 18.3	451 34.5	652 49.9	74 5.7	53 4.1		
	男性	674 100.0	387 57.4	335 49.7	139 20.6	123 18.2	255 37.8	288 42.7	39 5.8	26 3.9		
	女性	632 100.0	334 52.8	308 48.7	107 16.9	116 18.4	196 31.0	364 57.6	35 5.5	27 4.3		

問21 休暇の取得についての意見を自由回答

【超過勤務】

問 2 2 平成15年7月における超過勤務の時間数
 問 2 3 超過勤務についての考え方

		調査数	超過勤務時間 (平均時間)
国家公務員	全体	481	34.1
	男性	285	48.5
	女性	196	13.2
地方公務員	全体	1254	16.2
	男性	656	24.1
	女性	598	7.6

		い で き る だ け 超 過 勤 務 を し な い	仕 事 の 状 況 に 応 じ て 超 過 勤 務 を す る	周 り の 人 程 度 に 超 過 勤 務 を す る	超 過 勤 務 を 減 ら す こ と は 考 え て な い	無 回 答
(単位：人、%)						
国家公務員	全体	194 38.4	299 59.2	6 1.2	2 0.4	4 0.8
	男性	79 27.1	208 71.2	4 1.4	1 0.3	0 0.0
	女性	115 54.0	91 42.7	2 0.9	1 0.5	4 1.9
地方公務員	全体	685 52.5	593 45.4	11 0.8	2 0.2	15 1.1
	男性	303 45.0	355 52.7	8 1.2	1 0.1	7 1.0
	女性	382 60.4	238 37.7	3 0.5	1 0.2	8 1.3

問 2 4 超過勤務を減らすために効果的と思われる方法（複数回答）

		調査数	超 過 勤 務 を 減 ら す た め に 職 場 全 体 の 雰 囲 気 を つ く り よ う に す る	事 務 の 簡 素 化 、 合 理 化	定 時 退 庁 日 の 導 入 (強 化)	個 々 の 職 員 の 心 が け	上 司 が 指 示 を 的 確 に す る	上 司 が 率 先 し て 帰 る	そ の 他	無 回 答
(単位：人、%)										
国家公務員	全体	505 100.0	268 53.1	333 65.9	95 18.8	203 40.2	167 33.1	240 47.5	45 8.9	6 1.2
	男性	292 100.0	138 47.3	194 66.4	50 17.1	112 38.4	98 33.6	127 43.5	23 7.9	1 0.3
	女性	213 100.0	130 61.0	139 65.3	45 21.1	91 42.7	69 32.4	113 53.1	22 10.3	5 2.3
地方公務員	全体	1306 100.0	622 47.6	935 71.6	165 12.6	565 43.3	401 30.7	354 27.1	112 8.6	17 1.3
	男性	674 100.0	290 43.0	492 73.0	100 14.8	277 41.1	199 29.5	182 27.0	65 9.6	6 0.9
	女性	632 100.0	332 52.5	443 70.1	65 10.3	288 45.6	202 32.0	172 27.2	47 7.4	11 1.7

問 2 5 超過勤務についての意見を自由回答

問26 育児休業、休暇の取得及び超過勤務の取組のほかに、行動計画策定指針において「勤務環境の整備に関する事項」として掲げているもののうち、効果的な取組と思われるもの（複数回答）

		調査数	妊娠中及び出産後の職員に対する諸制度の周知	親の休暇の取得の促進	子どもの出生時における父	庁内託児施設の設置	子育てをしている職員に対する転勤についての配慮	子育てをしながらの勤務に配慮する職員の配置	性役割分担意識の是正のための取組	職場優先の環境や固定的な	その他	無回答
(単位：人、%)												
国家公務員	全体	505 100.0	177 35.0	265 52.5	208 41.2	270 53.5	159 31.5	222 44.0	21 4.2	6 1.2		
	男性	292 100.0	67 22.9	158 54.1	115 39.4	135 46.2	101 34.6	96 32.9	8 2.7	6 2.1		
	女性	213 100.0	110 51.6	107 50.2	93 43.7	135 63.4	58 27.2	126 59.2	13 6.1	0 0.0		
地方公務員	全体	1306 100.0	409 31.3	591 45.3	667 51.1	786 60.2	106 8.1	583 44.6	54 4.1	26 2.0		
	男性	674 100.0	168 24.9	322 47.8	306 45.4	369 54.7	68 10.1	272 40.4	28 4.2	13 1.9		
	女性	632 100.0	241 38.1	269 42.6	361 57.1	417 66.0	38 6.0	311 49.2	26 4.1	13 2.1		

問27 行動計画策定指針において「その他の次世代育成支援対策に関する事項」として掲げているもののうち、効果的な取組と思われるもの（複数回答）

		調査数	子どもを連れて人が安心して来行できるための乳幼児トイレやベビーベッドの設置等	子どもの地域貢献活動の支援	子ども・子育てに関する職員の研修	加型の実施	「子ども参観日」や家族参観の実施	家庭教育に関する学習機会の提供	その他	無回答
(単位：人、%)										
国家公務員	全体	505 100.0	209 41.4	226 44.8	169 33.5	115 22.8	20 4.0	53 10.5		
	男性	292 100.0	116 39.7	119 40.8	94 32.2	64 21.9	9 3.1	25 8.6		
	女性	213 100.0	93 43.7	107 50.2	75 35.2	51 23.9	11 5.2	28 13.1		
地方公務員	全体	1306 100.0	620 47.5	573 43.9	457 35.0	335 25.7	51 3.9	98 7.5		
	男性	674 100.0	284 42.1	284 42.1	238 35.3	176 26.1	27 4.0	48 7.1		
	女性	632 100.0	336 53.2	289 45.7	219 34.7	159 25.2	24 3.8	50 7.9		

問28 公務員の次世代育成支援対策のための取組についての意見を自由回答